

平成 30 年度スポーツ庁委託事業「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業
千葉県地域セミナー 報告書

| | |
|-------|---|
| 日時 | 2018（平成 30）年 9 月 11 日（火） 15：00－17：00 |
| 会場 | 千葉市立幕張西中学校 |
| 参加者 | 200 名（小学校教員 120 名、中学校教員 80 名、日本体育大学 2 名） |
| プログラム | <p>15：30 開会挨拶 千葉市立さつきが丘中学校 校長 木村重雄</p> <p>15：35 講演「新学習指導要領とオリパラ教育」 日本体育大学 教授 白旗和也</p> <p>16：35 謝辞 千葉市立天戸中学校 校長 高橋健志</p> <p>16：45 諸連絡</p> <p>17：00 閉会</p> |
| 内容 | <p>開会にあたり、千葉市立さつきが丘中学校木村重雄校長より、オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業および地域セミナーについて説明があった。</p> <p>講演では、2030 年、2050 年を見据えて少子高齢化は著しく進んでいく中で、教育課程および教育内容を検討し、2050 年に社会を担っているのは現在の小中学生であることからより一層、子ども（個）主体（自立）の学びを大切にする教育が推進されることの重要性を明らかにしていく必要があると述べた。保健体育研修会を兼ねた地域セミナーであったため、保健体育に焦点を当て、「豊かなスポーツライフ」の一層の推進のために、運動の見方・考え方の成長が必要であり、高い志と意欲を持ち、自ら問い立て、解決に向け他者と協働し、新たな価値を見出すことができる人材を育成していく必要性を伝えた。体育をなぜ学ぶのか、体育の時間に行うバスケットボールと休み時間に行うバスケットボールの違いは何かなど先生方に多くの問いかけを行い、先生方自身が考える場面も多く見受けられた。スポーツ自体が教育であり、教科書となる。勝利に向かい思考を巡らせることが重要であるなど授業作りにヒントとなる要素がたくさんみられた。</p> <p>千葉市での事業開始にあたり、事業方針の確認と他地域での実践事例を共有し、地域一丸となってオリンピック・パラリンピック教育を推進していくことを確認することができた。</p> |



会場の様子



講演：白旗氏